



# 第2次 竹田地域まちづくり計画

未来につなぐ人づくり  
～ 歴史・文化・ふれあいのまち 竹田 ～



## 竹田地域自治協議会 事務局

所在地 / 〒669-5252 兵庫県朝来市和田山町竹田650番地 (竹田地区市民会館内)

TEL / 079-674-2128 FAX / 079-674-2128

開館時間 / 平日9時～16時

竹田地域自治協議会  
2023 (令和5) 年3月

## 第2次竹田地域まちづくり計画の策定にあたって

2008年3月に竹田地域自治協議会が設立され、2010年4月に「竹田地域まちづくり計画」を策定してから13年が経過いたしました。

この間、竹田の街は大きな変化を遂げています。

一番は、竹田城跡のブームにより一時期ほどではないものの、訪れる観光客がまちなかを闊歩し、宿泊施設等も増え観光地の仲間入りをしてきたことです。

また、近年「新型コロナウイルス」感染症拡大防止が生活上の重要課題となり、今後は感染対策を適切に講じつつ、社会経済活動を続けていかなければならない事、さらに大型台風・集中豪雨等の自然災害が発生した場合にこの地域でも大きな被害を受ける可能性があり、防災意識の向上や対策も必要となってきます。

中でも深刻なのは、少子高齢化・人口減少による耕作放棄地・空き家の増加、生活様式の変化による自治活動や世代間交流の停滞など社会情勢の影響を受けた問題が山積していることです。

このような状況の中、「まちづくり計画」を現状に即したものにするため、小学4年生以上の方を対象にした「まちづくり住民アンケート」を行い、その結果をもとに検討を重ねて「竹田地域まちづくり計画」を策定いたしました。

今後は、この計画に基づき自治協議会活動を推進していきたいと考えます。何卒、ご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画の策定と住民アンケート調査にご協力頂きました関係者の皆様に衷心より深く御礼を申し上げ御挨拶といたします。

2023年3月  
竹田地域自治協議会  
会長 松浦修三

## 竹田地域まちづくり計画検討委員会 委員名簿

竹田地域自治協議会 令和3・4年度

職	氏名	役職・部会等
委員長	松浦修三	竹田地域自治協議会 会長
副委員長	坂本弘幸	竹田地域自治協議会 副会長
委員	平松愼一	竹田地域自治協議会 区長
委員	中島和広	竹田地域自治協議会 区長
委員	藤田学	竹田地域自治協議会 区長
委員	西垣強	竹田地域自治協議会 区長
委員	山本信一	竹田地域自治協議会 部会長
委員	藤本久子	竹田地域自治協議会
委員	谷原朝佳	竹田地域自治協議会
委員	田中美穂	竹田地域自治協議会
委員	高本恵三	朝来市地域担当職員
委員	松本初	朝来市地域担当職員
委員	山脇あおい	朝来市地域担当職員
委員	足立佐佑	朝来市地域担当職員
委員	高本千穂	朝来市地域担当職員
事務局		
事務局長	森下隆之	竹田地域自治協議会
事務員	神谷溶子	竹田地域自治協議会
事務員	藤本亜紀	竹田地域自治協議会
市民協働課		
課長	神谷芳彦	まちづくり協働部 市民協働課
課長補佐	中嶋大介	まちづくり協働部 市民協働課
係長	安田雅子	まちづくり協働部 市民協働課
係長	高階進吾	まちづくり協働部 市民協働課
コンサルタント他		
コンサルタント	中島英樹	(一社)朝来まちづくり機構 理事/事務局長
アドバイザー	岡田浩紀	竹田地域自治協議会

## 第2次竹田まちづくり計画策定の経過

第2次竹田地域まちづくり計画の策定に至るまでの経過をまとめました。

開催日	会議名等	会議内容等
2021年7月5日	自治協運営委員会	まちづくり計画改訂の必要性説明
2021年8月11日	第1回まちづくり計画検討委員会	まちづくり計画改訂の必要性
2021年9月3日	第2回まちづくり計画検討委員会	自治協事業や部会活動の現状把握
2021年10月1日	第3回まちづくり計画検討委員会	アンケート作成について意見交換
2021年10月26日	自治協運営委員会	まちづくり計画検討委員会の進捗状況について報告
2021年11月2日	第4回まちづくり計画検討委員会	アンケート調査内容の検討
2021年11月26日	第5回まちづくり計画検討委員会	アンケート調査内容の検討
2021年12月10日	第6回まちづくり計画検討委員会	アンケート調査内容の検討
2021年12月23日	第7回まちづくり計画検討委員会	アンケート修正 添付資料確認
2021年12月27日	第8回まちづくり計画検討委員会	アンケート最終修正（コアメンバー）
2022年1月31日	アンケート配布	各区よりアンケート配布
2022年3月15日	アンケート回収完了	配布2,615件 回収1,823件 回収率69.7%
2022年7月20日	第1回まちづくり計画検討委員会	アンケート分析結果について説明住民への分析結果報告の方法等について意見交換
2022年8月9日	第2回まちづくり計画検討委員会	住民へのアンケート結果報告について協議 まちづくり計画作成スケジュールについて協議
2022年9月2日	第3回まちづくり計画検討委員会	竹田地域の「将来像」について意見交換
2022年9月26日	第4回まちづくり計画検討委員会	竹田地域の「将来像」を確定 まちづくり計画の基本方針について意見交換
2022年10月18日	第5回まちづくり計画検討委員会	基本方針を確定基本方針と部会の関係について意見交換
2022年11月10日	第6回まちづくり計画検討委員会	基本方針最終チェック 作成班編成部会活動内容について検討
2022年11月18日	第1回まちづくり計画編集班会議	計画案作成方針協議
2022年11月29日	第2回まちづくり計画編集班会議	計画案作成検討、計画案作成箇所分担
2022年12月20日	第7回まちづくり計画検討委員会	アンケート概要版について検討 まちづくり計画書（案）について検討
2023年1月13日	第8回まちづくり計画検討委員会	アンケート概要版について検討 まちづくり計画書（案）について検討
2023年1月27日	第9回まちづくり計画検討委員会	まちづくり計画書（案）について検討
2023年2月1日	自治協運営委員会	まちづくり計画書（案）について協議

## 目次

### はじめに

#### 竹田地域まちづくり計画について

1 地域まちづくり計画とは	1
2 地域まちづくり計画で示すこと	1
3 計画期間	1

### 第1章

#### 竹田地域の現状と課題

1 竹田地域の概要	2
2 竹田地域の紹介と地域資源	3
3 竹田地域の人口構成と将来推計	5
4 住民アンケートの主な結果とこれからの課題	7

### 第2章

#### 竹田地域が目指す将来像と基本方針

1 竹田地域が目指す将来像	8
2 基本方針	8
3 竹田地域まちづくり計画体系図	9
4 基本方針とそれぞれの取組内容	11

### 第3章

#### まちづくりの推進に向けて

1 竹田地域まちづくりの推進体制	17
2 計画の検証・見直し	18

#### 参考資料

第2次竹田まちづくり計画策定の経過	19
竹田地域まちづくり計画検討委員会 委員名簿	20

# はじめに 竹田地域まちづくり計画について

## 1 地域まちづくり計画とは

まちづくり計画は概ね10年後を見据えた地域のありたい将来像、その実現に向けたまちづくりの基本方針を示した活動理念の基本となるものです。

第1次のまちづくり計画から10年以上が経過し、少子高齢化・人口減少により、地域の状況等が変化していることから見直しを行いました。

計画の見直しについては、地域住民の想いを反映させるため、小学4年生以上の方全員を対象にした「まちづくり住民アンケート」を行うとともに、「まちづくり計画検討委員会」を重ねて策定しました。

## 2 地域まちづくり計画で示すこと

この計画は、当地域のまちづくりの指針となる計画であり、以下のことを示しています。

### (1) 竹田地域の現状と課題

地域の現状と住民アンケートから見えてきた今後の課題を示します。

### (2) 竹田地域が目指す将来像と基本方針

竹田地域が目指す将来像や、その実現に向けたまちづくりの基本方針を示します。

### (3) 将来像を実現するための推進体制

竹田地域の将来像の実現に向けた体制等を示します。

## 3 計画期間

概ね10年間を計画期間とします。



## 2 計画の検証・見直し

「竹田地域まちづくり計画」は、地域自治協議会が取り組む施策等が基本方針に基づいた活動であることを確認し、地域の状況の変化に適切に対応できるように下記のPDCAサイクルを利用して事業の進行管理を行い、継続的な改善を図ります。また、社会情勢の大きな変化が見られた場合には、必要に応じて「竹田地域が目指す将来像」を見直します。各部会の活動については、地域の状況変化に対応できるように活動内容を随時変更できるものとします。



### 竹田地域の紹介と地域資源⑧



#### ■寺町通り

かつては武家屋敷があったと伝えられており、現在は竹田城に關係するお寺が4ヶ寺並んでいます。また、お寺の白壁の塀や松並木、鯉が泳ぐ絹屋溝など、歴史散策路として人々に楽しまれています。4つのお寺にかかる石橋はいずれも江戸時代に作られたものです。

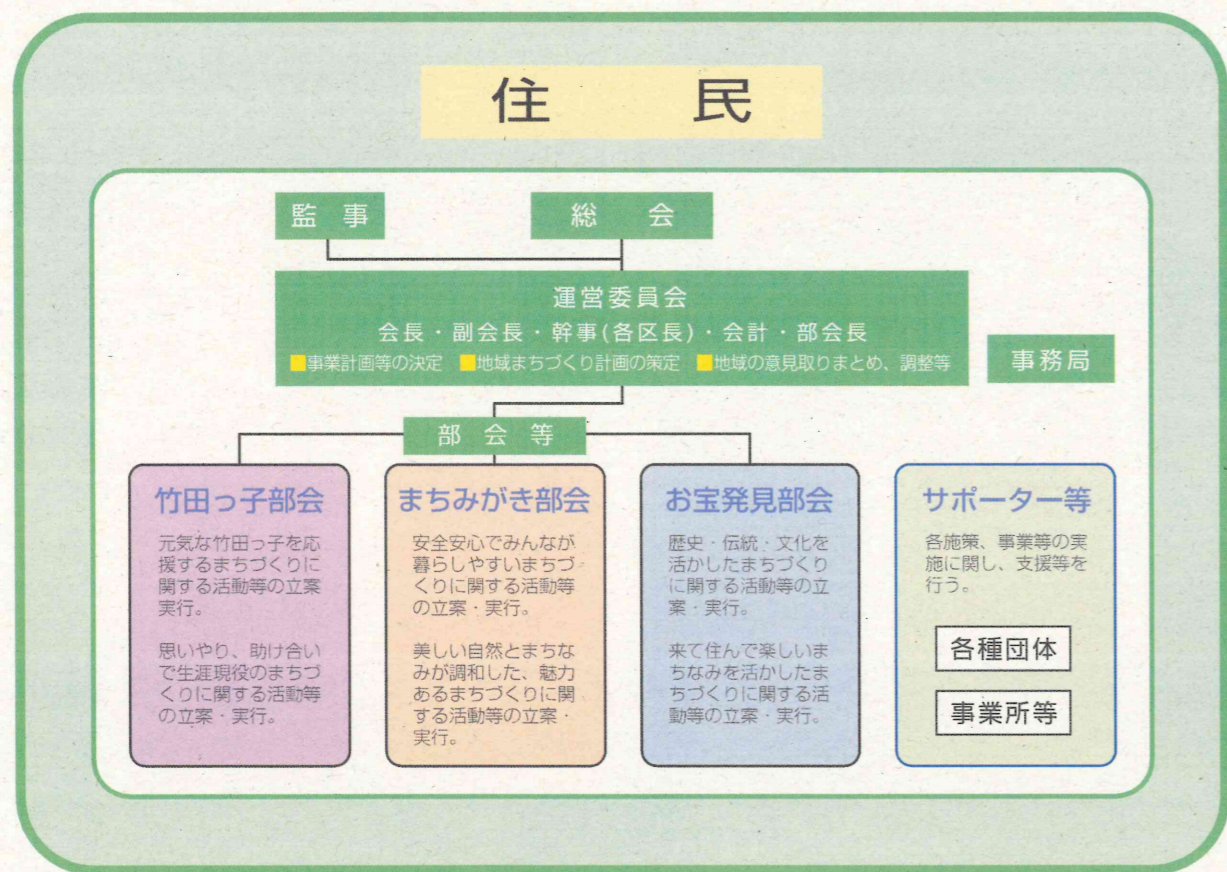
# 第3章 まちづくりの推進に向けて

## 1 竹田地域まちづくりの推進体制

竹田地域が目指す将来像「未来につなぐ人づくり～歴史・文化・ふれあいのまち竹田～」を実現していくためには、地域住民、企業、関係機関、各種団体等が対話を通じてまちづくりへの意識の共有を図りながら、共に連携して取組を進めていくことが大切です。

また、地域自治協議会の組織体制は、住民アンケート等から見えてきた新たな地域課題の解決に向けて以下の3つの部会に再編します。それぞれの部会においては、地域住民等の積極的な参画を図りながら、実効性の高い取組を進めていきます。なお、組織体制については、まちづくりの取組状況や社会情勢等を勘案し、必要に応じて見直しを検討します。

竹田地域自治協議会 推進組織図



竹田地域の紹介と地域資源⑦



### ■茶すり山古墳

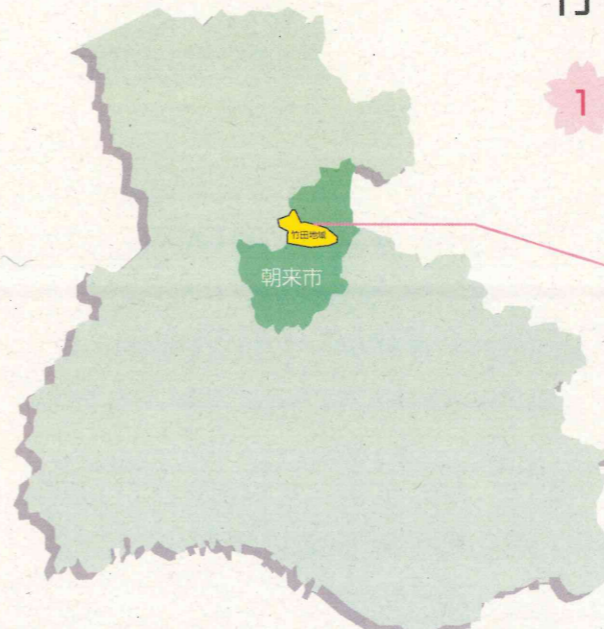
古墳時代中期（5世紀前半）に作られた、近畿最大級の円墳で、国の重要文化財に指定されています。刀剣類や鉄鏃など多量の武器が出土しており、特に、襟付短甲という、畿内以外では茶すり山古墳でしか出土例がなく、また、畿内でも限られた有力者しか持ち得ない財が副葬されていたことから、中央政権と強く結びついた首長の墓であると考えられています。

# 第1章 竹田地域の現状と課題

## 1 竹田地域の概要

### (1) 位置

竹田地域（竹田小学校区）は兵庫県朝来市のほぼ中央部に位置し、地域の中央を円山川が南北に貫流しています。東は山東地域、西は養父市、南は朝来地域、北は和田山地域に隣接する28.85km<sup>2</sup>の地域です。



### (2) 地勢

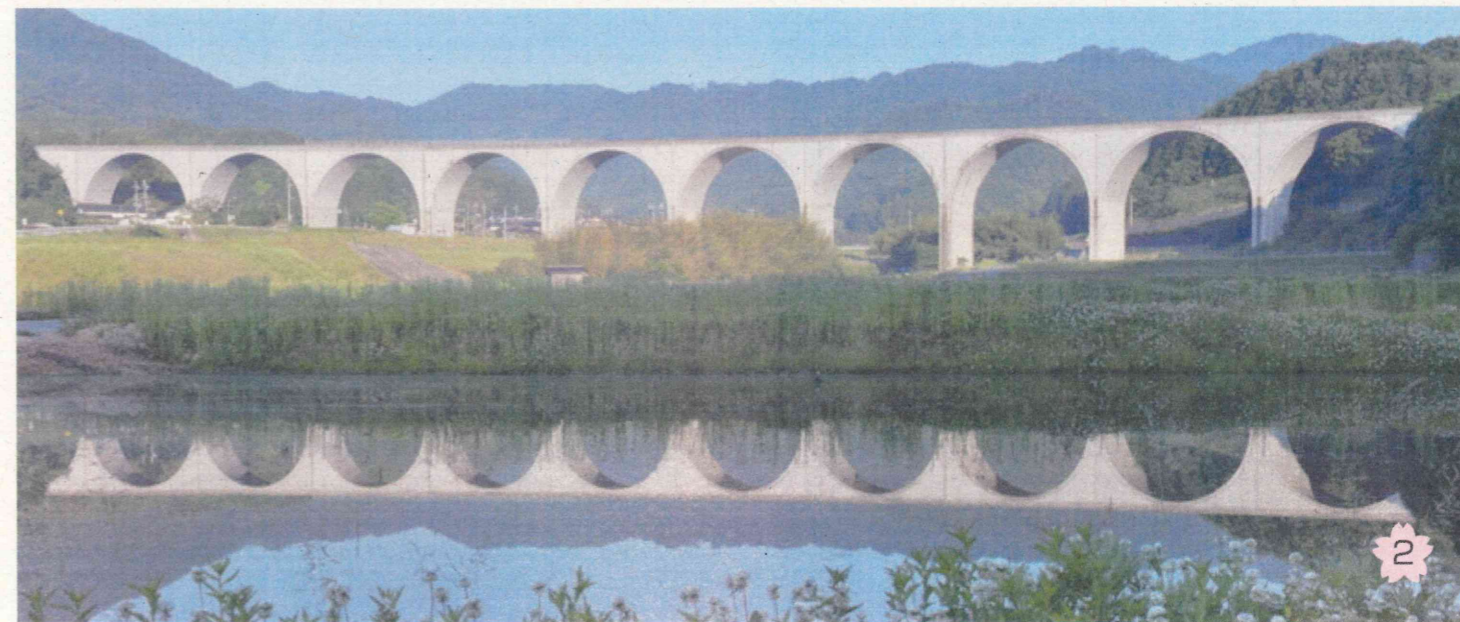
円山川本流と支流に沿って市街地や点在する集落があり、農耕地や山林など緑豊かな自然が残る地域で、周囲を中国山地の山々が取り囲んでいます。また、竹田城跡・茶すり山古墳・立雲峡をはじめとする史跡や景勝地を有し、朝来市観光の拠点となっています。

### (3) 交通

大阪・神戸方面を結ぶ北近畿豊岡自動車道と姫路方面への播但連絡道路とが和田山インター・ジャンクションで合流しており交通の要衝となっています。また、国道312号や県道などの幹線道路に市道が接続し生活道路網を形成しています。公共交通機関はJR播但線（竹田駅）と全但バス・アコバスが運行しています。

### (4) 地域の構成

下町・米屋町・観音町・中町・上町新町・殿町・旭町・東町・栄町・安井・殿・三波・藤和・久留引・加都筒江・久世田・城南台の19地区があります。

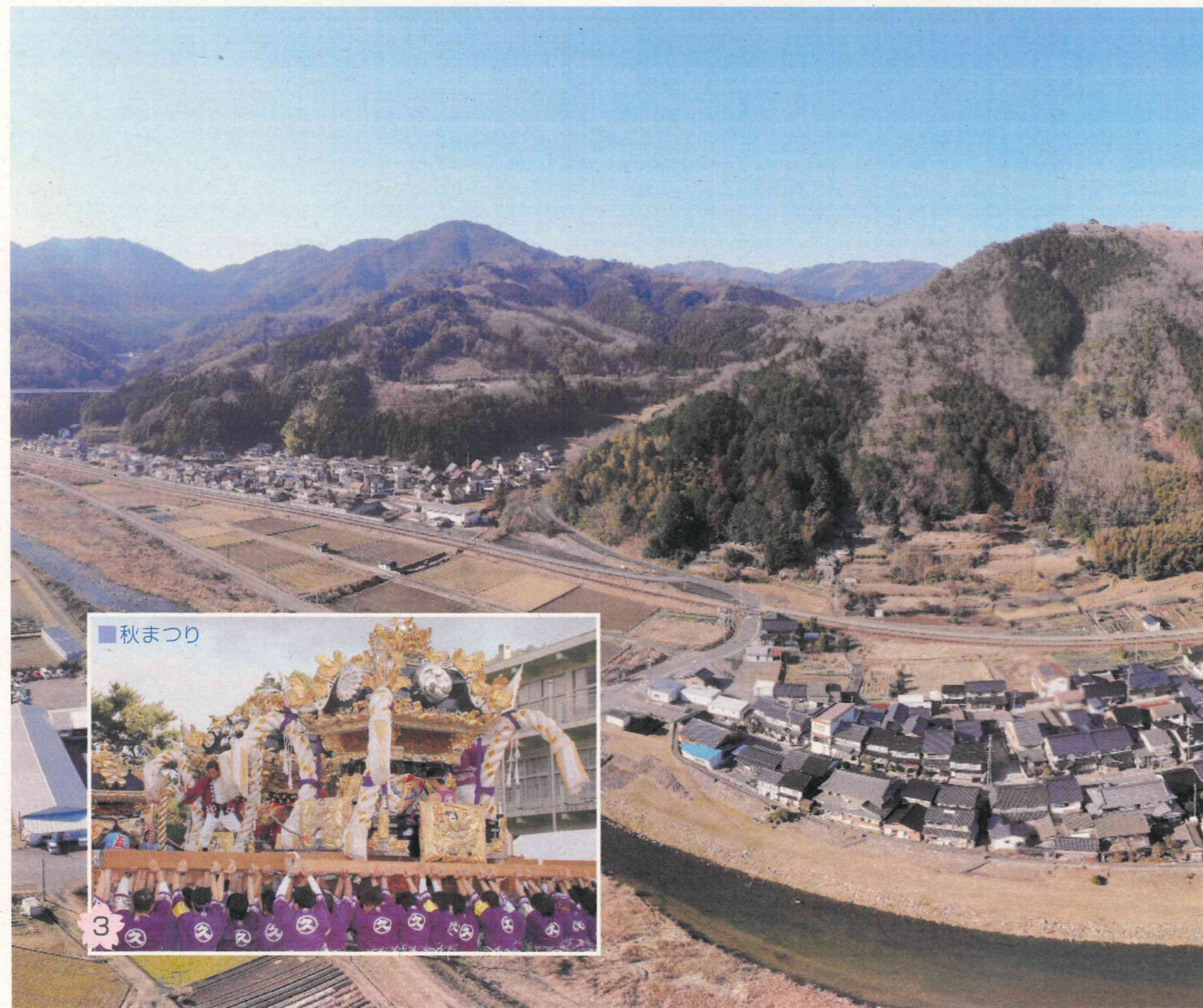


2 竹田地域の紹介と地域資源

■ 絹屋溝



■ 竹田城跡



■ 秋まつり

(6) 来て住んで楽しいまちなみを活かしたまちづくり

竹田地域が「観光地」になったことについて、多くの住民は活気が出て誇らしいと感じています。観光地として発展し続けるためには、地域の魅力を高め、訪れた観光客にまた来たいと思ってもらえるようにすることが大切です。

一方で、観光客の増加を目指すだけでなく、竹田地域が好きになり他地域から移り住んでくれる人を増やすことも重要です。観光客や移住者のニーズと私たちの生活等とのバランスをとり、共存・共生させることで、竹田地域を来て住んで楽しいまちなみとし、これを活かしたまちづくりを進めます。

観光リピーターを増やす活動

- まちなかウォークラリー  
(昔のまちなみMAPの活用)
- 映像や光による空間演出  
(プロジェクションマッピングなど)
- 自然遊び、自然体験  
(キャンプなど)
- 観光情報の発信
- 観光客のニーズを把握するためのアンケート調査

地域が豊かになる活動

- 名物商品や特産メニューの検討、開発
- キッチンカーなどでの販売

移住者を増やす活動

- 移住者支援、移住者との交流



観光パンフレット



交流会

### (5) 歴史・伝統・文化を活かしたまちづくり

竹田地域の歴史や伝統、文化を学ぶことは、後世に継承されるだけでなく、ずっと暮らしてきた人にとっては、地域の魅力を再発見、再認識することにつながり、他地域から移り住んだ人にとっては、地域をより深く知る機会になります。  
こうした学びや歴史等を活かした取組を行うことにより、まちへの誇りを高め、住民同士の絆を深められるまちづくりを進めます。

#### 竹田っ子への継承活動

- 伝統文化・地域の祭りの継承
- 昔遊びの継承

#### 竹田の歴史・伝統・文化の再発見

- 歴史探訪
- 歴史を振り返る活動  
(まちなみ、物語などから)
- 昔のまちなみMAP作成

#### 名所旧跡を活かした観光活性化活動

- お城まつりなどのイベントへの支援
- 竹田城跡ボランティアガイドの育成



■ 寺町通り

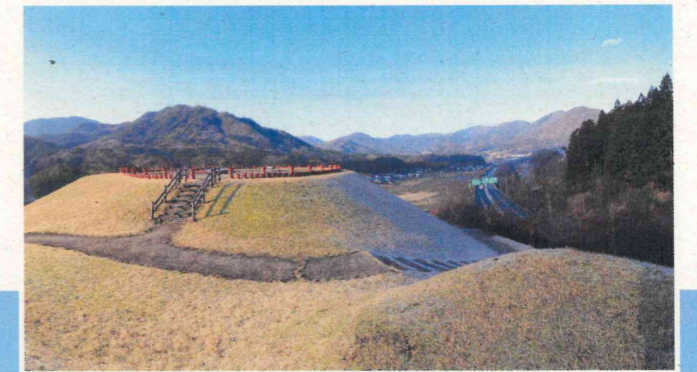


■ 大將軍杉



■ 竹田駅

■ 茶すり山古墳



■ 虎臥城大橋(めがね橋)

■ 松明まつり



■ 百手まつり



■ 松明まつり



■ お城まつり



■ 竹田城跡  
ボランティアガイド



■ 街並み



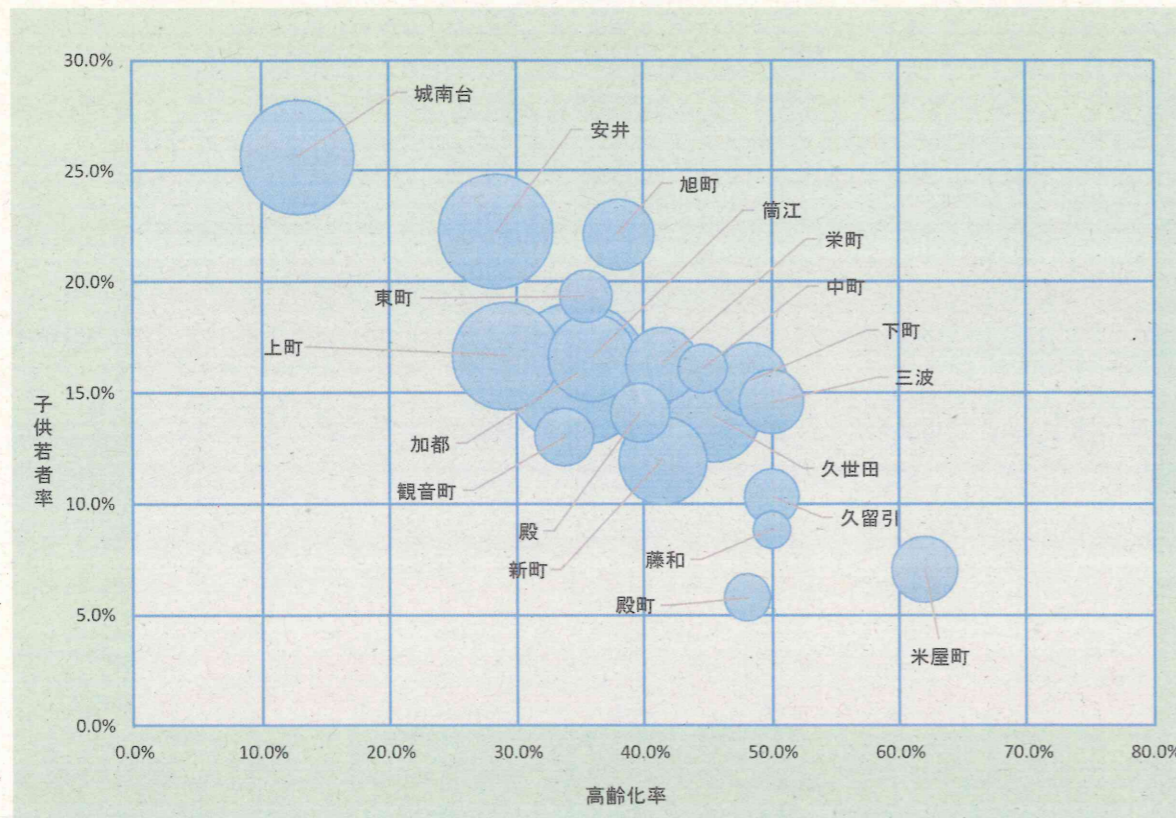
■ 立雲峡

### 3 竹田地域の人口構成と将来推計

#### (1) 現在の地区別人口構成

令和4(2022)年10月末時点の竹田地域全体における人口は**2,904**人、世帯数は**1,203**世帯、子供若者率(20歳未満の比率)は**16.3%**、高齢化率(65歳以上の比率)は**37.0%**(住民基本台帳より)であり、少子高齢化が進んでいます。  
また、行政区別に人口を抽出し、縦軸を子供若者率、横軸を高齢化率としたバブルチャートを作成すると、図1のようになります。

図1 各行政区における人口規模と子供若者率及び高齢化率



竹田地域全体で見ると人口規模は34人～460人、子供若者率は5.8%～25.6%、高齢化率は12.8%～62.0%の幅があります。  
このように竹田地域とひとくくりにしても行政区によって人口規模、人口構成に差があることがわかります。

#### 竹田地域の紹介と地域資源①



#### ■竹田城跡

1431～1443年にかけて古城山山頂に築かれ、1600年に廃城となりました。古城山の山全体が、虎が伏せているように見えることから、別名「虎臥城(とらふすじょう、こがじょう)」とも呼ばれています。現在は石垣が残るのみですが、完存する石垣遺構としては全国屈指の規模を誇ります。

#### (4) 美しい自然とまちなみが調和した魅力あるまちづくり

竹田地域は、山や川など自然が豊かで、生活環境にも恵まれています。私たちはこれを守り、後世に引き継いでいかなければなりません。一方、先祖から受け継いだ土地などの維持管理への不安や地域内で空き家が増えて景観が悪くなることに不安を感じる住民が少なくありません。そこで、美しく豊かな自然と竹田地域のまちなみが調和し、相互に魅力を高め合うまちづくりを進めることで、まち全体の魅力を高めていきます。

#### 自然と多様な生き物を守る活動

- ・円山川の保全活動
- ・里山の保全活動
- ・遊休農地の有効活用

#### 花と緑あふれるまちづくり

- ・地域緑化、花づくり活動
- ・草刈り支援

#### 生活環境の美化・保全活動

- ・ゴミ拾い、公園等の清掃
- ・空き家の情報共有、空き家バンク紹介



清掃活動



花づくり活動



### (3)安全・安心でみんなが暮らしやすいまちづくり

今回のまちづくりに向けたアンケートでは、多くの方が「移動手段が不便」であることを竹田地域の暮らしにくさとして挙げていました。また近年、竹田地域では、大きな自然災害に見舞われることがなかったため、住民の防災に対する意識の低下が心配されます。さらに、他地域からの人の往来がある中で、防犯・交通安全対策を推進することはとても大切です。竹田地域の暮らしが安全・安心に、そしてより良くなるようなまちづくりを、関係団体と連携協力して進めます。

#### 暮らしを支える公共交通の維持・確保

- ・地域公共交通の利用促進
- ・地域内交通の導入に向けた検討

#### 防災・防犯・交通安全対策の推進

- ・日頃からのコミュニケーションで地域力向上
- ・消防団との協力による防災防火訓練の実施
- ・交通安全防犯見守りパトロール



防犯パトロール

#### 安心して生活できる環境づくり

- ・買い物支援
- ・コミュニティナースの配置

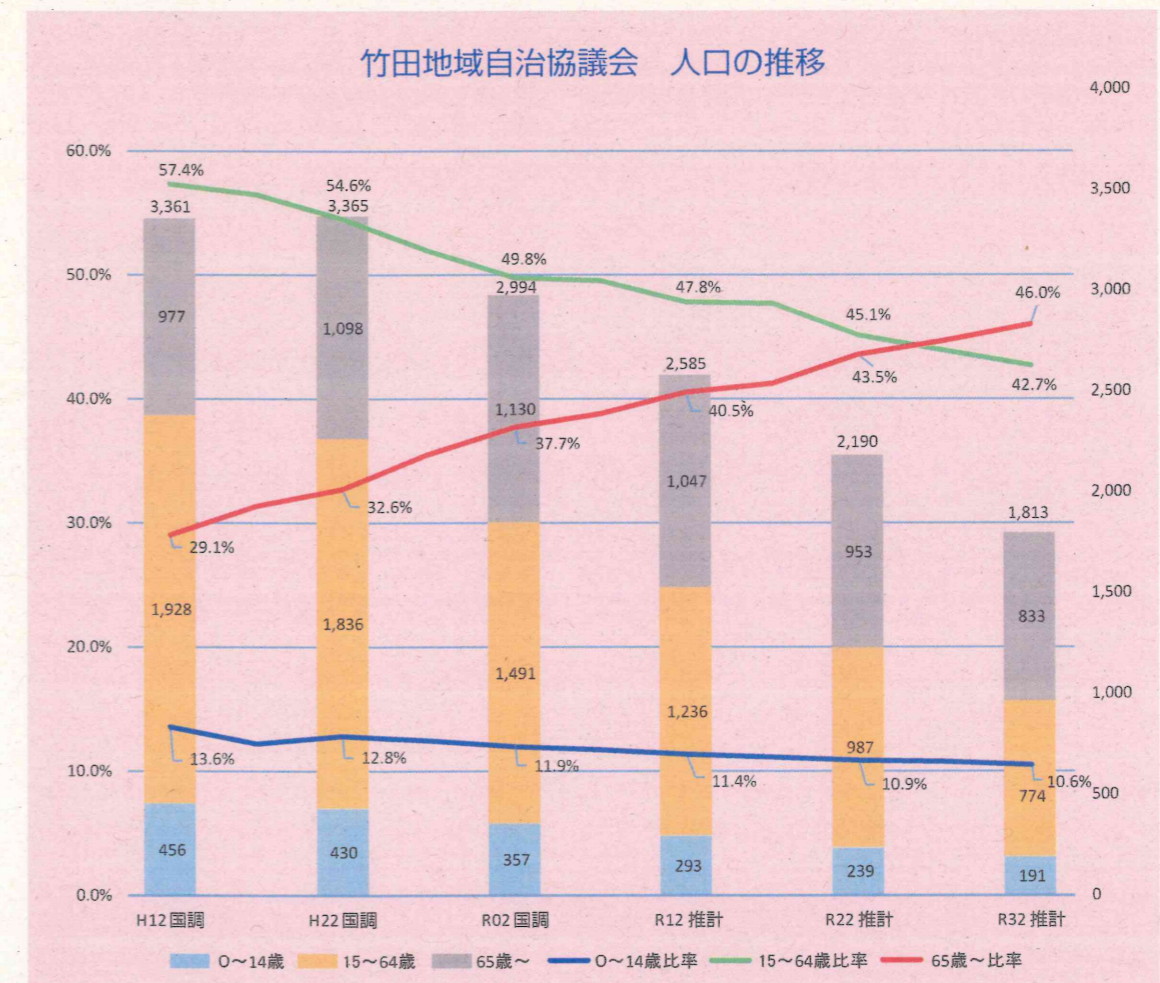


公共交通

### (2)将来人口の推計

次に、国勢調査に基づいた竹田地域全体における人口及び人口構成の  
 ※ 推移実績 【平成12(2000)年～令和2(2020)年】  
 ※ 推移予測 【令和12(2030)年～令和32(2050)年】  
 について示します。横軸に該当する年、縦軸に年代別に積み上げた人口の棒グラフと人口構成比率を示した折れ線グラフを合わせると、図2のようになります。

図2 竹田地域の人口及び人口構成の推移



このグラフからわかるように、竹田地域において令和32(2050)年に高年齢率が46.0%(2人に1人が高齢者)となり、平成12(2000)年と比べて人口が53.9%(3,361人から1,813人)に減少する見込みです。

#### 竹田地域の紹介と地域資源②



##### ■立雲峡

朝来山の中腹にある県立の自然公園です。春にはソメイヨシノや山桜が咲き誇り「但馬吉野」ともいわれる北近畿一の桜の名所でもあります。樹齢300年の老桜や、奇石・巨岩が点在し、眼下には竹田の城下町が一望できます。秋は雲海に浮かぶ「天空の城 竹田城」の姿を望むことができます。

## 4 住民アンケートの主な結果とこれからの課題

## (1) 主な結果

幅広い年代の人が、豊かな自然環境の中で静かに生活できることが魅力であると考えていることがわかりました。また、若い世代にとっては歴史・文化が継承されていることも魅力の1つになっています。

一方で、移動手段や土地の維持管理等に不安を感じている人が多いこともわかりました。また、観光地として竹田地域が注目され誇らしいと感じる人もいれば、観光客の増加は望まない人もいるなど、感じ方に差があります。

## (2) これからの主な課題

自然豊かで歴史あるまちであることは竹田地域の魅力であると同時に、どうすれば地域住民の生活を守りながら観光地としても発展していけるか、という課題を生み出しています。先人たちから受け継いできた田園風景、まちなみ、伝統を後世に残しつつ、生活の場として、観光地として、住民、観光客、誰もが安心して生き生きと過ごせるまちづくりが求められています。

① 自然と暮らしを維持し、未来につなぐ (→基本方針③④⑥)

② 歴史・伝統・文化を大切にする (→基本方針⑤⑥)

③ 「大人になっても帰ってきたい」 (→基本方針①③④⑥)

「今後も住み続けたい」まち

④ 誰もが安心して暮らせる (→基本方針①③)

⑤ いつまでも健康でいられる (→基本方針①②)

⑥ 住民も観光客も楽しいまち (→基本方針②⑤⑥)

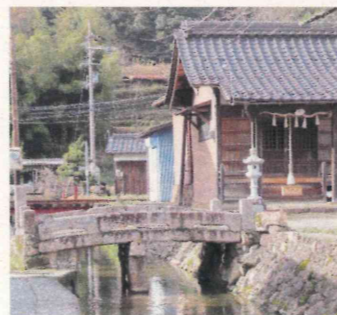
⑦ 地域でのつながりを大切にする (→基本方針①②)

## 竹田地域の紹介と地域資源③

## ■ 絹屋溝

1824年の大洪水をきっかけに、絹屋治左衛門が私財を投げ打って、治水と防火を目的に整備した川です。石段がついた「洗い場」が設けられるなど、竹田の人々の暮らしを支えてきました。

現在、金毘羅神社に向かって絹屋溝に架かる石橋「えびす橋」は但馬最古の石橋といわれており、一般道路で使用されていた石橋としては但馬唯一とされています。



## (2) 思いやり・助け合いで生涯現役のまちづくり

人生100年時代に、高齢者から若者まで全ての人が元気に活躍し続けられるまちをつくるのが重要な課題となっています。健康づくり、高齢者への支援や見守り等の思いやりにあふれる活動、学びの場・ふれあいの場づくりといった取組を通じて、竹田地域の住民が健やかに暮らし、年を重ねても生きがいを持ち、元気に活躍し続けられるようなまちづくりを進めます。

## 健康づくりの推進

- ・クッキング教室、栄養指導教室
- ・介護予防教室
- ・ウォーキング、登山

## 思いやり・助け合いの活動

- ・高齢者の見守り
- ・ミニデイサービスの開催



ふれあい事業

## 生涯にわたる学びの支援

- ・生涯学習スクール
- ・同好会、サークル活動



寄せ植え教室 作品

## 人が集う行事やイベントの開催

- ・カフェやミニショップの開店
- ・気軽に集える場づくり



寄せ植え教室

## 第2章 竹田地域が目指す将来像と基本方針

### 4 基本方針とそれぞれの取組内容

#### (1) 元気な竹田っ子を応援するまちづくり

子供や若者はこれからの竹田地域を担う大切な存在です。その子供たちの健全な成長を支援する活動に取り組めます。

また、学校と連携して地域の人材や観光資源を活かした体験学習を通じ、子供たちがまちへの愛着と誇りを育み絆が深められるまちづくりを進めます。さらに、女性や若者、子供がまちづくりに参画できるように様々な機会や仕組みをつくりまします。

#### 安心して子育てできる環境づくり

- ・小学生の登下校見守り活動
- ・子育てサロン
- ・子供たちの遊び場の整備



見守り活動

#### ふるさと愛を育む活動

- ・まなび隊



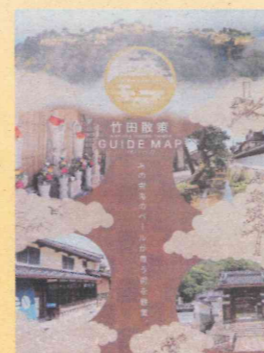
まなび隊 芋掘り体験

#### 若者等が参加しやすい仕組みづくり

- ・若者中心のイベント支援
- ・竹田地域自治協議会の活動に関する情報発信 (SNS、ホームページなど)



恋人の聖地 モニュメント



観光パンフレット

#### 1 竹田地域が目指す将来像

但馬の山々や清流円山川など美しい自然環境に恵まれた、わたしたちの故郷…竹田地域には、全国的に有名な「竹田城跡」や近畿最大級の円墳「茶すり山古墳」などの国史跡や但馬吉野と呼ばれる山桜で有名な「立雲峡」があり、地域の人々が大切に守り続けています。

今後も地域の伝統・行事を将来に継承するとともに、活力と魅力のある安心して暮らすことができるまちづくりを進めるためには、「人づくり」が最も重要であると考え、将来像を次のように設定しました。

## 未来につなぐ「人づくり」 ～ 歴史・文化・ふれあいのまち 竹田 ～

#### 2 基本方針

将来像である、「未来につなぐ人づくり ～歴史・文化・ふれあいのまち 竹田～」の実現に向け、次の6つの基本方針に基づき、まちづくりに取り組んでいきます。

- ① 元気な竹田っ子を応援するまちづくり ③ ④ ⑤ ⑦
- ② 思いやり・助け合いで生涯現役のまちづくり ⑤ ⑥ ⑦
- ③ 安全・安心でみんなが暮らしやすいまちづくり ① ③ ④
- ④ 美しい自然とまちなみが調和した魅力あるまちづくり ① ③
- ⑤ 歴史・伝統・文化を活かしたまちづくり ② ⑥
- ⑥ 来て住んで楽しいまちなみを活かしたまちづくり ① ② ③ ⑥

#### 竹田地域の紹介と地域資源④



#### ■ 虎臥城大橋(めがね橋)

古城山に向かって安井谷に架かる12個のアーチが連なった播但連絡道路の橋です。橋の下から見上げる姿も壮観ですが、竹田城跡に登れば安井谷の自然と調和した美しい姿を眺めることができます。また、田植えの季節、付近の田んぼに張られた水に橋のアーチが反射する姿も美しいです。

### 3 竹田地域まちづくり計画体系図



まなび隊

## 未来につなぐ人づくり ～ 歴史・文化・ふれあいのまち 竹田 ～



竹田城跡観光客

#### 元気な竹田っ子を 応援するまちづくり

安心して子育てできる  
環境づくり  
ふるさと愛を育む活動  
若者等が参加しやすい  
仕組みづくり

P11

#### 思いやり・助け合いで 生涯現役のまちづくり

健康づくりの推進  
思いやり・助け合いの活動  
生涯にわたる学びの支援  
人が集う行事やイベントの  
開催

P12

#### 安全・安心でみんなが 暮らしやすいまちづくり

暮らしを支える公共交通  
の維持・確保  
防災・防犯・交通安全対策  
の推進  
安心して生活できる環境  
づくり

P13

#### 美しい自然と まちなみが調和した 魅力あるまちづくり

自然と多様な生き物を  
守る活動  
花と緑あふれるまちづくり  
生活環境の美化・保全活動

P14

#### 歴史・伝統・文化を 活かしたまちづくり

竹田っ子への継承活動  
竹田の歴史・伝統・文化の  
再発見  
名所旧跡を活かした観光  
活性化活動

P15

#### 来て住んで楽しい まちなみを 活かしたまちづくり

観光リピーターを増やす  
活動  
地域が豊かになる活動  
移住者を増やす活動

P16

### 住民参加のまちづくり

竹田っ子部会 まちみがき部会 お宝発見部会 サポーター等

P17

#### 竹田地域の紹介と地域資源⑤



#### ■秋まつり

初代竹田城主である太田垣光景が諏訪神社を建立し、神輿渡御を行ったのが最初と伝わっています。現在は、大小20台の「やっさ」と呼ばれる屋台と諏訪神社及び加都神社のお神輿が竹田のまちを練り歩き、夜は竹田駅前にライトアップされたやっさが集まって練り合わせを行っています。華やかなやっさ、独特のリズムで鳴らされる太鼓の音や掛け声、色とりどりのはっぴでにぎわう豪華絢爛なお祭りです。

#### 竹田地域の紹介と地域資源⑥



#### ■松明まつり

1762年3月3日、中裏町（今の旭町）より出火、強風にあおられて延焼し町の半分を焼失、さらに翌年、妙泉寺と観音寺を焼く大火が続きました。そこで、二度とこの様なことが起こらないように、朝来山中腹の火伏の神を祭る愛宕神社に籠り堂を建て、中裏町の人が籠って火難からの無事を祈り、竹田各町が円山川の川岸に大松明を立て、献灯奉納した（7月23日）のが始まりで、以降、毎年7月23日に行われています。